

フォント管理に なぜ Suitcase Fusion が必要か？

高いレベルの仕事がされているのであれば

ぜひプロ向けのツールを使ってください。

Apple Font Book のような基本的なフォント管理を利用している方もいらっしゃると思います。もちろん、システムが提供するツールで十分な場合もあります。しかしこのようなシステムレベルのツールはプロの仕事に合わせて設計されていません。もしあなたが印刷やデザインに関わる "プロ" であれば (Adobe Illustrator や Adobe InDesign、QuarkXPress などを利用している)、仕事をする上でプロ向けのフォント管理ツールが役立つことが多くあります。

プロ向けのフォント管理ツールは ここが違う！

- 期待している通りの正しいバージョンのフォントを毎回使える
- 自動でフォントをオン (またはオフ) にすることができる (Illustrator / InDesign CS3/ CS4、QuarkXPress 8)
- PDF や EPS の埋め込みフォントもオン
- フォントを安全な場所に集中管理
- 消失フォントやフォントの重複問題も簡単に解決
- 破損フォントの検知と修復
- ソフトウェアの起動不要でフォント管理エンジンを提供

高度な管理が 必要になる方は？

- デザイナー
- プリプレス&印刷
- マーケティング部門
- Adobe CS や QuarkXPress 利用者
- 仕事でフォントが重要な人

Suitcase Fusion の働き

正確なフォントを
探し出す

Font Sense と呼ばれる高度なフォント識別機能を使って、フォント名だけではなく種類、メーカー、バージョンなどまで見てフォントを特定します。

安全なフォント
環境の維持

お好きな場所や方法で格納したチェック済みのフォントだけを利用可能にできます。

オートアクティベ
ーションコントロール

プラグインを使ったオートアクティベーションによって、重複時の処理や書類を閉じた際の処理など様々な設定が可能です。特にプロが利用する Adobe や Quark アプリケーション用にプラグインが用意されています。

埋め込まれた
フォント

リンクファイル (PDF や EPS) に埋め込まれたフォントもオンにできます。

一般のツールでは

基本的には同じ PostScript 名またはフォントメニュー名を持った、最初に見つかったフォントをオンにします。

アクティベーションされたフォントはどこに存在するかはわかりません。

限られた仕様でのアクティベーション機能が提供されます。Font Book では、アプリケーションが要求したフォントのみをオンにします。アプリケーション内で開いているドキュメントによってオンになったフォントは他のアプリケーションからは利用できません。

埋め込まれたフォントのオートアクティベーションはできません。

ドキュメントを開くときに「消失フォント」のメッセージが表示されたり、別のフォントに置き換わって開いてしまったりする。

プロフェッショナルオートアクティベーション

基本的なフォント管理ツールでもフォントを自動的に開く機能がありますが、このような場合、確実に正しいフォントを開くことや、どのように開くかを設定することはできません。Suitcase Fusion では、プラグインを利用した自動オン・オフ機能を提供し、先進的なフォント識別を実行します。フォントの重複問題や消失フォントの問題を解決します。

異なるバージョンのフォントに置き換わってしまい、ドキュメント内のテキストがリフローしたまま印刷されてしまった。

確実なフォント識別

一般的なフォント管理ツールでは PostScript 名やフォント名でフォントを識別しています。フォント名が同じ場合には何の忠告も出ずに置き換えてしまいます。Suitcase Fusion では、フォント名が同じ場合に起きるエラーを回避するために、フォントのバージョンなど複数の条件からフォントを識別し、特定するためのマーキング (Font Sense 番号による認識) を行います。この機能によって、毎回確実に同じフォントを利用できます。

フォントコンフリクトやフォントの重複問題を解決するのに時間がかかってしまう。

重複フォント管理

Suitcase Fusion では安全なリポジトリを用意することで、フォントライブラリに同じフォントが登録されないようにすることができます。まったく同じフォントが存在すると混乱を引き起こしますが、名前だけが同じの場合は複数のフォントが必要になる場合があります (例えばフォント名が同じだがバージョンや開発元が違う場合など)。Suitcase Fusion ではこれらをきちんと区別して管理することができます。

破損フォントによりシステムが不安定になる。

破損フォントの検証と修復

Suitcase Fusion では、破損フォントの発見と修復を行えるので、問題を引き起こす可能性のあるフォントを選り分けることができます。ご利用のフォントをきれいに保つことによってトラブルを回避することができます。

フォントを大量にシステムに入れると、動作が遅くなる。

フォントのオン・オフとオートアクティベーション

一般的なフォント管理ツールでは、スーツケースごとのフォントのオン・オフができませんが、Suitcase Fusion は単体のフォントのオン・オフが可能です。本当に必要なフォントだけをオンにすることができるので、不必要なフォントと一緒にオンにする必要がなくなります。Suitcase Fusion ではドキュメントを閉じると自動的にフォントをオフにでき、また残しておきたいフォントはずっとオンのままにするなど、自由な設定が可能です。

急いでいるときに限って、フォントが見つからなくなる。

安全なフォントリポジトリ

Suitcase Fusion では、必要なときにすぐにフォントにアクセスできるよう、安全なフォント格納場所を用意しています。この機能によりフォントのバックアップも簡単になり、フォントを紛失することを避けることができます。

フォントを探すときに、フォント名が思い出せない。

一歩進んだフォント検索機能

Suitcase Fusion は、セット機能や検索など多彩なフォント管理機能を提供します。キーワードや、開発元による検索をはじめ、自動的に識別されるフォントデザイン形式などの検索も可能です。この機能により、簡単に希望の種類別にフォントプレビューが可能です。